

地域課題

研究活動報告

県民クラブでは、11月13日、14日の日程で中津市を訪れ、誘致企業の現状調査や災害復旧状況調査、障がい者団体や地元漁協との意見交換等を行いました。

ダイハツ九州(株)

大分工場は2004年11月に前橋市から移転した車両工場で、従業員は2千人を超え、地域の雇用に大きく貢献しています。



- ① 中津に移転した主な理由は、生産に必要な広大な土地がある
- ② 中津港に隣接しており合理的な海上輸送が可能
- ③ 人材確保が可能
- ④ 自動車関連仕入先が集積しており

品調達が可能という点でした。2007年1月には第1工場の半分の面積で同じ生産能力のある第2工場が竣工し、生産台数を年間40万台に倍増させています。

海外展開も始めており、コンパクトカー技術をさらに磨いていくとのことでした。

耶馬溪町の斜面崩壊復旧工事

2018年4月11日に発生した斜面崩壊(幅160m、長さ220m)は予兆もなく発生し、6名の尊い命が犠牲になりました。翌日には林野庁調査団による現地調査が行われ、4月23日に応急復旧工事に着手、6月3日には完了し、その後、原因究明等を検討する中、対策工を決定、9月6日に本復旧工事に着手しました。



その後、復旧工事を分割し

て発注することで工期を大幅に短縮し、順調に進む中、2020年3月には完了見込となつていきます。土木技術の凄さを再認識しました。

中津市歴史博物館

11月1日にオープンしたばかりの博物館です。中津城の成り立ちを紹介したDVDを見た後、高崎館長から館内施設の概要について説明を受けました。



黒田官兵衛が築いた九州最古の中津城の石垣が鑑賞できるガラス張りのラウンジや、中津の歴史と文化を伝える様々な展示は、子どもからおとなまで楽しく見学しながら学べる工夫がされていました。中学生が学芸員さんの説明を受けながら勉強していました。中津市の歴史と文化を発信する新しい起点となることを期待されます。

障がい者団体との意見交換

中津市身体障がい者協会との意見交換では、側溝のふたとふたの間の穴に杖の先がはまり込むのを防止するための「ふた」の設置や、増えつつある駅の無人化への対応(転落防止のための人の配置や丁寧なアナウンスなど)について意見が出されました。



自閉や知的障がいの子を持つ保護者からは、「グループホームに入りたいが数が少ない」、「障がい者が地域の中で生活するためヘルパーが必要だが、募集しても集まらない。ヘルパーの待遇面での保障をしっかりとしてほしい」などの要望が出されました。あつという間に予定時間が来てしまい、後ろ髪をひかれる思いで会場を後にしました。とても貴重な重要な意見交換ができました。

請願・意見書の採択状況

意見書の採択状況

意見書	県民クラブ	民主党	自由党	公明党	共産党	日本	大樹会	しんせい	志任の会	村守野郎会	料農業者会	大分県民	可・否
地域医療を守る公立・公的病院の維持・存続のための支援の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
「あり運転」に対する感罰化とさらなる対策の強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和元年台風第19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
CSFの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

請願の採択状況

請願	県民クラブ	民主党	自由党	公明党	共産党	日本	大樹会	しんせい	志任の会	村守野郎会	料農業者会	大分県民	可・否
安定ヨウ素剤の配布に関する請願	△	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否

県議会ホームページにて
一般質問の中継録画を視聴できます

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

県議会HPにて過去分も含め、
各議員一般質問の全録画を
視聴できます。

